

CD-JSQC-Std 33-001「方針管理の指針」に対するコメント

No	ページ	章・節・項(図・表)、行	コメント内容(各250字以内)	提 案(各250字以内)	対応案
1	2	↑11行	「7.5 方針の実施～」→「7.5 方針の実施～」		○
2	4	↓10	「期待通り」→「期待どおり」		○
3	4	↓11	「ねらい通り」→「ねらいどおり」		○
4	5	↓6行	「ベクトルをあわせて～」→「ベクトルを合わせて～」		○
5	5,7等	3.1 方針管理 方針管理 他	何箇所か、「ベクトル」を使っているが、他では、「方向づけ」としているの で、「方向」としてはどうか。	ベクトル→方向	×(用語の定義でベクトルが用いられて います。)
6	5	↑5行	「方策を実施して～」の「を実施して」のボールド止めて、ナミ字にする		○
7	6	↑15行	「TQM」を半角文字に(↑21行の「TQM」に合わせる)		○
8	6	↑6行	「なお、～」は改行のため、1字下げる		×(直前の記述と同一段落で す。)
9	7	品質保証	他にも何箇所かあるが、「新」を入れなくてもよいのではないか。	「新」をとる	×(「新製品開発管理」という用語 を一貫して使用しています。)
10	7	図1の中	「維持向上」の右の「/」のような汚れ有		△(ハッチングの網を細かくしまし た。)
11	7	↑12行、17行	↓3行目は「方針管理, 日常管理～」という順になっているので、↑12行と↑17行の順も 方針管理、日常管理の順に並べ替える		△(3行目を修正しました。)
12	7	↑12行	「ベクトルをあわせて～」→「ベクトルを合わせて～」		○
13	7	↑2行	「達成するうえで」→「達成する上で」		○
14	8	↓1行	「向上・改善・革新～」→「向上,改善及び革新～」		○
15	8	↓13行、図3キャ プション、↑1行	「日常管理と方針管理」→「方針管理と日常管理」		△(図3を含め、日常管理、方針 管理の順に統一しました。)
16	8	図3	方針管理と日常管理の位置を入れ替えたほうがよい。(前後の文やタイトルからみて)	方針管理と日常管理の位置を入れ替える	○
17	8	↑3行	「リスクを押さえ込む～」→「リスクを抑え込む～」		○

18	9	図4キャプション、 図5キャプション	「日常管理と方針管理」→「方針管理と日常管理」		×(No.15参照)
19	9	図4タイトル	「目的から見た」となっているが、図は目標になっていある。 目標と目的を後述でも分けているのでタイトルを変えてはどうか。	目的と目標の関係の説明を図の前に入れる	×(図4と図5が対になっており、 図4は目的から見た整理になっています。目的と目標の関係は3.4 の定義で明確になっていると思 います。)
20	9	図4	原案:図の横軸の単位が”月”となっている	提案:図の横軸の単位を”時間”にする 理由:図1の横軸の単位と合わせた	○
21	9	図5の中 (左図の一番下)	「共有、応急処置」→「共有、応急処置」		○
22	9	図5	「進め方から見た日常管理と方針管理の関係」の図は非常に重要な考え方を示している ので掲載について大賛成であるが、誤解を招きやすい表現が多く書かれているので、 主旨に絞って簡素化を求める <誤解しやすい理由> 1)「PDCA・SDCAの文字の位置」と「その外側にある四角で囲んだ行動の位置」との 間には明確な位置関係としての意味がない 2)使命・役割の明確化、業務分析はSDCAでは不足するところを補っているものであり、 組織や業務分担などのプロセスの変更を伴うものなので、本文の説明に従うとPD CA側に入れるべきもの	1. SとPを図の中心縦軸に対して対称の位 置に置く。 2. 外側にある四角で囲んだ行動を削除。 3. SDCAの記号の下にそれぞれの記号 意味の説明を入れるのみにする(日常管理 の指針と同様)	△(SDCAの位置のみ修正しまし た。日常管理と方針管理におけ る問題解決・課題達成との関係を示 すことが主目的です。)
23	9	図5	※上記コメントの補足 <賛成理由> ・PDCAは行動の基本パターンであるが、安定的な行動になってくればP(計画)をS (標準化)に変えて日常管理として運用される。 ・内外環境の変化などで日常管理のAの結果、日常管理では対応できないと判断さ れると方針管理としてPがスタートする。方針管理の結果が出るまでの間、SDCAはその まま回る。 ・このように、日常管理のSDCAの結果、次のSへいくものと、方針管理のPに行くもの に分かれること。また、方針管理により大きく動かしたらPDCAのAの次に、SDCAの Sに大きな変更を加えてスタートすること。そしてそれはいつも一緒に回っていること が、二つのリングが接していることでうまく示されている。それゆえ、SCDAが回ってい ない組織ではPDCAがうまくいかないことも予感できる。これは大変優れた表現だと思 う		-
24	10	集約	目標と目的の関係の説明が必要です。		×(No.19参照)
25	10	↑8行	「整合性保ちながら」→「整合性を保ちながら」		○
26	10	↑7行	「目的達成ためのもので」→「目的達成のためのもので」		○
27	11	表1中の「実施」の 真ん中の欄	「実施計画通りに～」→「実施計画どおりに～」		○

28	11	↓4行	「重要となる～」→「 <u>基礎</u> となる～」(↓3行目「基礎となっている～」と表現合わせる)		○
29	11	↓8行	「指示 <u>で</u> だけでなく」の「 <u>で</u> 」をトル		○
30	12	3行目	原案:現地現物に	提案:現地・現物 または 現地、現物 理由:他の箇所の表記と合わせた	○
31	12	↑5行	「方向付を～」→「方向付け」(↑9行に「方向付け」とある)		○
32	13	↓3行	「 <u>おこなう</u> 」→「 <u>行う</u> 」		○
33	13	↓6行	「実施される」→「 <u>実施される</u> 」		○
34	13	↑4行	「計画 <u>通り</u> 」→「計画 <u>どおり</u> 」(同行に2箇所所有)		○
35	13	↑3行	「 <u>処置</u> を取る」→「 <u>処置</u> をとる」		○
36	13	表3の注1)と注2)	「 <u>ヶ月</u> 」→「 <u>カ月</u> 」		○
37	15	↓7行	「 <u>か</u> 年」→「 <u>カ</u> 年」		○
38	15	↑18行、6行	「 <u>通り</u> 」→「 <u>どおり</u> 」		○
39	19	↓10行	「 <u>醸成</u> する」→「 <u>促す</u> 」		○
40	19	↓16行	「した <u>うえ</u> で、」→「した <u>上</u> で、」		○
41	19	↑4行	「 <u>実施計画になる</u> につれて」→「 <u>実施計画にブレイクダウン</u> するにつれて」(p.17の↑4行で使用有)		×(上位から下位になるにつれの意味です。)
42	20	↓8行、↑14行	「計画 <u>通り</u> 」→「計画 <u>どおり</u> 」		○
43	21	↑14	「月、 <u>週</u> など」→「月、 <u>週</u> など」		○
44	21	↑2行	「計画 <u>通り</u> 」→「計画 <u>どおり</u> 」		○
45	21	↑1行	「 <u>達成する</u> うえで」→「 <u>達成する</u> 上で」		○
46	22	6.3.4 上から4行目	原案:パートナーのなど	提案:パートナーなどの 理由:誤記と思われる	○
47	22	↓10行	「 <u>適宜</u> に」→「 <u>適宜</u> 」		○
48	22	↓15行	「 <u>取る</u> 」→「 <u>とる</u> 」		○

49	22	↓21行	「6.3.4項に」→「6.3.4に」(p.25 ↓12行では「項」はない)		○
50	22	↓23行	「一年間」→「1年間」		○
51	22	↑11～12行	「パートナーの <u>など</u> 変更」→「パートナー <u>などの</u> 変更」		○
52	23	↓17行	「実績と目標」→「目標と実績」		○
53	23	↑2行、表5のキャプション	「表5」→「表4」		○
54	24	↓1行	「表5」→「表4」		○
55	24	↓2、4、5、10、11、12、15、16行	「計画通り」→「計画どおり」		○
56	24	↓3行	「とりあげた」→「取り上げた」		○
57	24	↑15行	「あたって」→「当たって」		○
58	24	↑2、8行	「取る」→「とる」		○
59	25	↓3行	「かかわる」→「関わる」(同頁 ↑5行では「関わる」なので)		○
60	25	↑14行	「全てに渡って」→「すべてにわた(or互)って」		○
61	25	↑6行	「把握した <u>うえで</u> 」→「把握した <u>上で</u> 」		○
62	26	↓1、15行	「行く」→「いく」		○
63	26	↓14行	「どの様な」→「どのような」		○
64	26	↑19行	「と言う」→「という」		○
65	26	↑17行	「OJT」→「OJT」(半角に)		○
66	26	↑16行	「壁を <u>超え</u> させる」→「壁を <u>乗り越え</u> させる」		○
67	26	↑14行	「導くフォローして」→「導く <u>よう</u> にフォローして」		○
68	26	6.5.2 管理者として の部下への対応	部下にこんな重要な方策・実施計画は任せられない」と言う発言を聞くことがある。は、前後の文からみて、違和感があります。 言いたいことはわかるが、規格の文章として合わせたほうがよい。	削除しても通じると思います。	△(当該の文を削除した上で、前後がつながるように修正しました)
69	27	↑3行	「通して」→「 <u>と</u> おして」		○

70	28	↓16行	「在りたい姿」→「 <u>あり</u> たい姿」		○
71	28	↑16行	「SWOT」→「swot」(半角に)		○
72	28	↑9行	「 <u>お</u> かれている」→「 <u>置</u> かれている」		○
73	29	↓2行	「 <u>分</u> かる」→「 <u>わ</u> かる」		○
74	29	↓10行	「 <u>ケ</u> 月」→「 <u>カ</u> 月」		○
75	29	↑12行	「その <u>通</u> り」→「その <u>と</u> おり」		○
76	30	↓8行目	「計画 <u>通</u> り」→「計画 <u>ど</u> おり」		○
77	31	↓3行目	「 <u>予</u> 定 <u>通</u> り」→「 <u>予</u> 定 <u>ど</u> おり」		○
78	31	↓11行	「表 <u>5</u> 」→「表 <u>4</u> 」		○
79	31	↓16行、↑6、4、3、2、1行	「 <u>の</u> がよい」→「 <u>と</u> よい」		×
80	31	↓17、19行	「 <u>行</u> えて」→「 <u>行</u> われて」		△(2)は「行うことができます」に修正しました。)
81	32	図11中	1)「グループ」の「ー」に「-(ハイフン)」が入っているので変える 2)注の1、3行目「 <u>行</u> えて」→「 <u>行</u> われて」		○
82	33	↓2、5、7、12、15行	「 <u>の</u> がよい」→「 <u>と</u> よい」		×
83	33	↓7行	「 <u>お</u> くべき」→「 <u>置</u> くべき」		○
84	33	↓8行	「表 <u>6</u> 」→「表 <u>5</u> 」		○
85	33	↓14行	「指揮のもと」→「指揮のもと <u>で</u> 」		○
86	33	表6キャプション	「表 <u>6</u> 」→「表 <u>5</u> 」		○
87	33	表6中	1)「規定」→「 <u>規</u> 程」 2)「 <u>お</u> く」→「 <u>置</u> く」		1)×(一貫して「規定」を用いています。) 2)○
88	33	↑7、6行	「表 <u>7</u> 」→「表 <u>6</u> 」		○
89	34	表7キャプション	「表 <u>7</u> 」→「表 <u>6</u> 」		○
90	34	表7の注、↓3、4、5行、↑7、5、2行	「 <u>の</u> がよい」→「 <u>と</u> よい」		×

91	34	↓3行	「規定」→「規程」		×(一貫して「規定」を用いています。)
92	34	↑10行	「計画通り」→「計画どおり」		○
93	34	↑8行	「上で述べた」→「上記の」		○
94	35	↑7行	「通して」→「とおして」		○
95	36	↓6行	「通り」→「とおり」		○
96	36	↑9、7、5行	「のがよい」→「とよい」		×
97	37	↓1行、↑9行	「通り」→「とおり」		○
98	38	↓1行	「通り」→「とおり」		○
99	38	↓6行	「おって」→「追って」		○
100	39	↓1行	「通り」→「とおり」		○
101	39	下から6行目	原案:方策の実施状況	提案:方策・実施計画の実施状況 理由:6.4.3の表現と合わせた	○(本文中の該当箇所も統一しました。)
102	39	↑6行	「表5」→「表4」		○
103	39	↑3行	「通して」→「とおして」		○
104	40	↑2行	「計画通り」→「計画どおり」		○